

LSミニケース錠、LVSケース錠・SVSケース錠 仕様

SQ座・SQJ座・YB座・YBJ座レバーハンドル錠 取付説明書

⚠注意 この表示は誤ると「傷を負うか、又は物的損害の可能性が想定される」内容です。



禁止

※本製品は一般住宅屋内専用(浴室を除く)ですので、玄関等の屋外や多数の方々ご利用する商業施設などでは使用しないでください。

※シリンダー錠は商業施設等の多頻度使用には適さない仕様ですので使用しないでください。キーやシリンダーの摩耗で正しく施解錠できなくなることがあります。

※電動ドライバーは使用しないでください。各取付ネジは製品の変形・破損、扉の変形に注意し、作動不良が無いようにしっかり締め付けてください。

※本製品は分解、改造をしないでください。

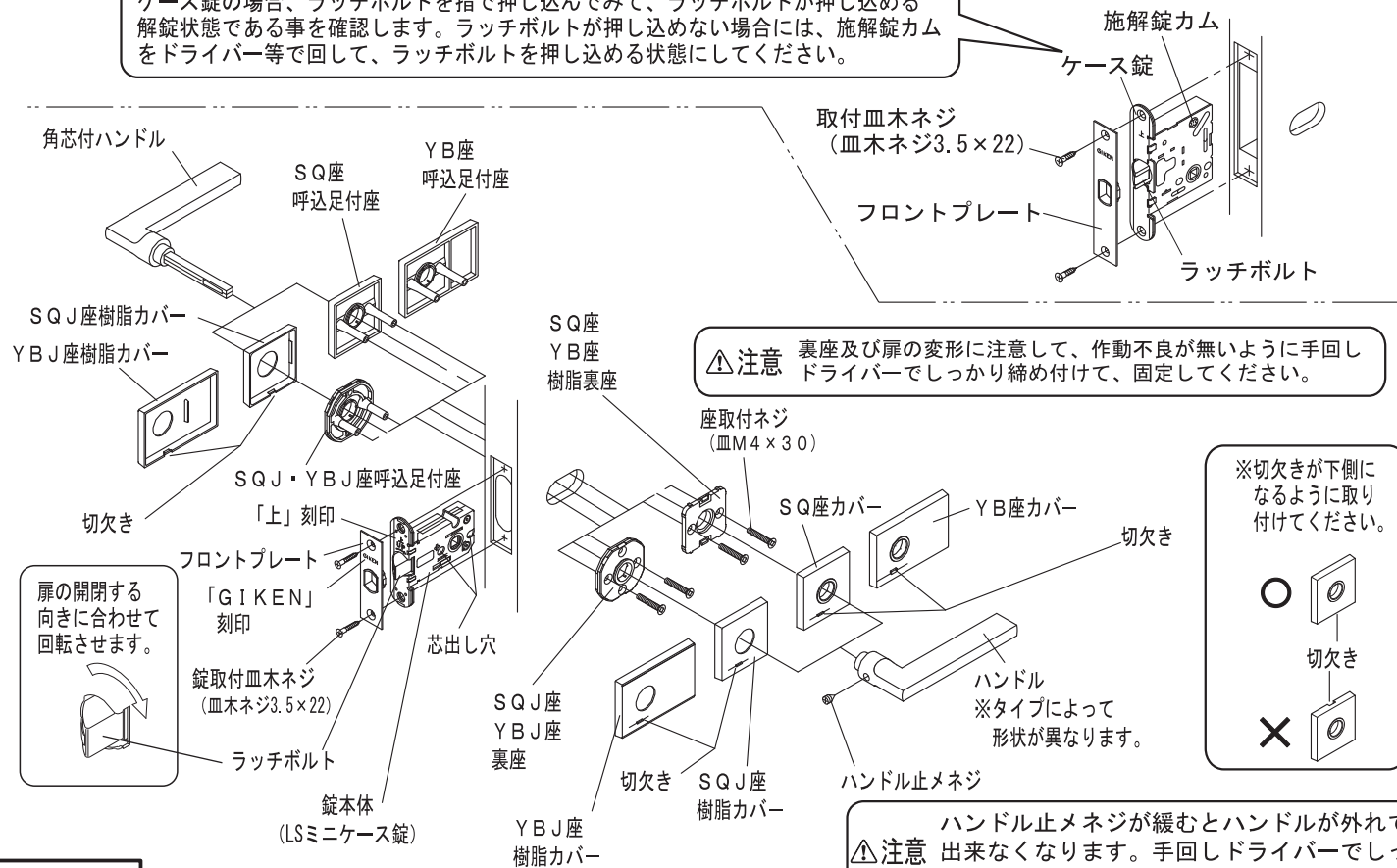
株式会社 川口技研

〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41
TEL 048-255-5411
FAX 048-255-8228
<https://www.kawaguchigiken.co.jp/>

施工前にこの取付説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されますようお願い致します。

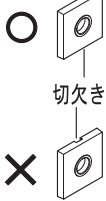
使用可能扉厚 33~40mm

ケース錠の場合、ラッチボルトを指で押し込んでみて、ラッチボルトが押し込める解錠状態である事を確認します。ラッチボルトが押し込めない場合には、施解錠カムをドライバー等で回して、ラッチボルトを押し込める状態にしてください。



⚠注意 裏座及び扉の変形に注意して、作動不良が無いように手回しドライバーでしっかり締め付けて、固定してください。

※切欠きが下側になるように取り付けください。



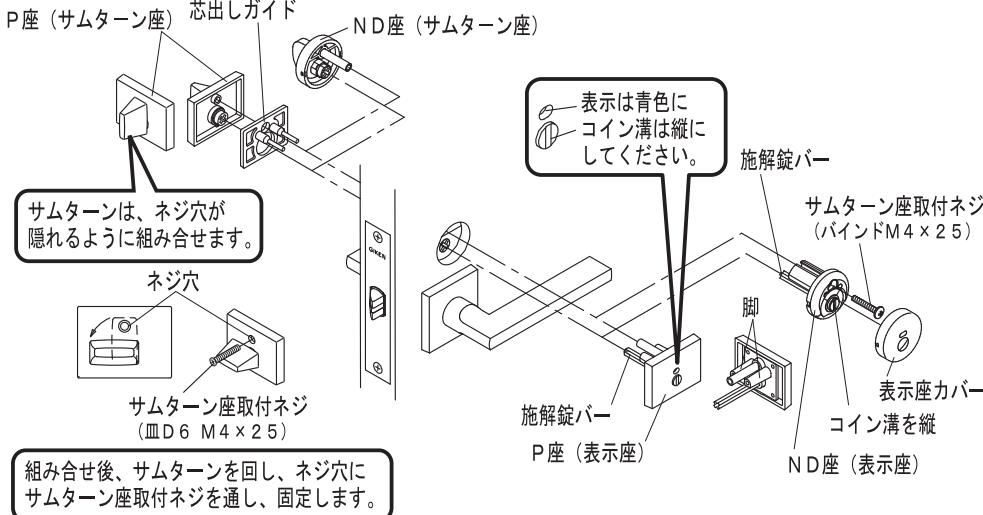
⚠注意 ハンドル止メネジが緩むとハンドルが外れて作動出来なくなります。手回しドライバーでしっかり締め付けて、固定してください。

取付方法

- 裏面の取付型紙に従って、扉に加工をしてください。
- 錠本体の「上」刻印を上にして扉に挿入して、扉の開閉する向きに合わせてラッチボルトを回転させます。
- 「G I K E N」刻印の向きに合わせてフロントプレートを取り付け、錠取付皿木ネジで固定してください。
- 内外の座を座取付ネジで仮止めし、両側のハンドルを差し込みます。YB座の場合、座カバーの切欠きが下側になるよう、戸先から見て右手側に樹脂裏座を取り付けてください。
- 両側のハンドルを動かし、スムーズに動くことを確認し、座及び扉の変形に注意して、作動不良が無いように、座取付ネジを手回しドライバーでしっかり締め付けて、固定してください。
- 仮止めした両側のハンドルを一旦外し、座カバーを切欠きを下にしてはめ込んでください。
- ハンドルは角芯付ハンドルを内側座に取り付け、室外側はハンドル止メネジでしっかり締め付けて、固定してください。ハンドルデザインによっては角芯付ハンドルが内側座に取り付け出来ない場合があります。その場合は、ハンドルデザインの向きに合わせてハンドルを取り付けてください。
- 裏面を参考にして、調整ストライクをラッチボルトの位置に合わせて取り付けてください。

セパレート座 P座・ND座の取付方法

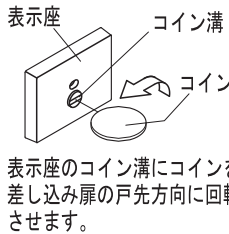
内締錠・表示錠の場合



組み合わせ後、サムターンを回し、ネジ穴にサムターン座取付ネジを通し、固定します。

- 表示座の表示の青が上になるようにコイン溝を縦にして、施解錠バーを錠本体の施解錠カムに通します。P座の場合は、芯出しガイドの脚を表示座の脚の穴に差し込みます。内側のサムターンも縦にして表示座とサムターン座を組み合わせます。
- サムターン座取付ネジで固定してください。P座の場合、サムターンを回転させて、ネジ穴にサムターン座取付ネジを通し、固定します。
- サムターンを回して、ハンドルが正しく固定・解除されることを確認してください。
- ND座の場合、表示座カバーを切欠きに合わせてはめ込んでください。

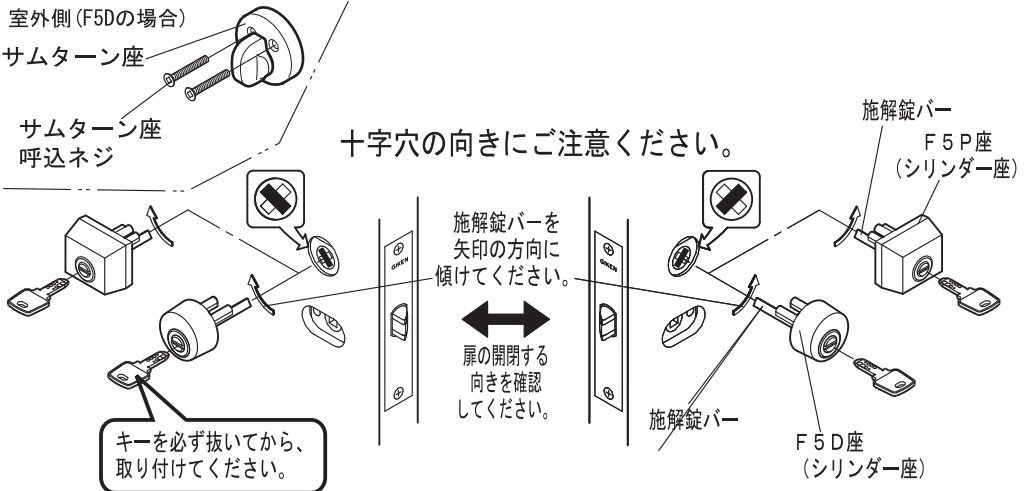
非常解錠方法



シリンダー錠の場合

- キーをシリンダー本体から必ず抜いてください。キーを差し込んだままでは正しく取り付けることが出来ない場合があるのでご注意ください。
- 扉の開閉する向きに合わせて施解錠バーを矢印の方向に傾け、錠本体の施解錠カムの十字穴の黒塗側に通します。
- サムターンを回して、ハンドルが正しく固定・解除されることを確認してから、動きの良い所でサムターン座取付ネジを締め付けてください。

施解錠バーの挿入する向きを逆にすると、正常動作できなくなりますので、ご注意ください。



⚠注意 取付完了後は必ず作動確認を行ない、正常な動きを確認してください。

取付型紙

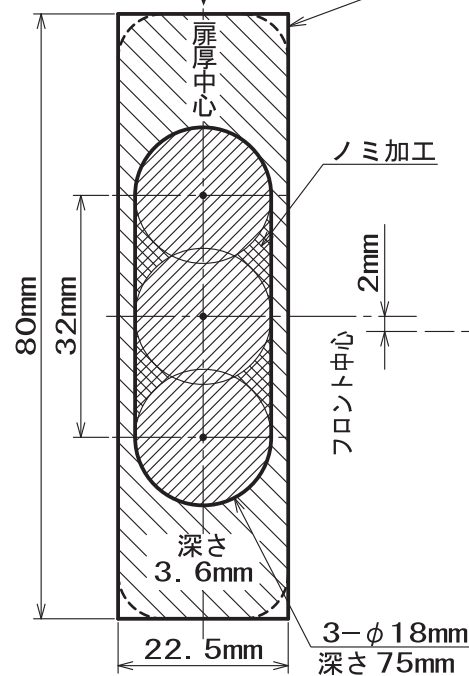


注意

- 必ず指定寸法で加工してください。
- 取付型紙をコピーして使用する場合は、原寸大であることを必ず確認してください。
- 扉表面の穴を先に、横手面からの穴を後に加工してください。
- チューブラ錠の場合、錠本体が入る穴の加工が大きすぎると使用時、錠本体に負担がかかりやすくなり重大な故障の原因になりますので、必ず指定寸法（φ24mm）で加工してください。
- 錠本体の入る丸穴やフロントは、真っ直ぐに加工してください。

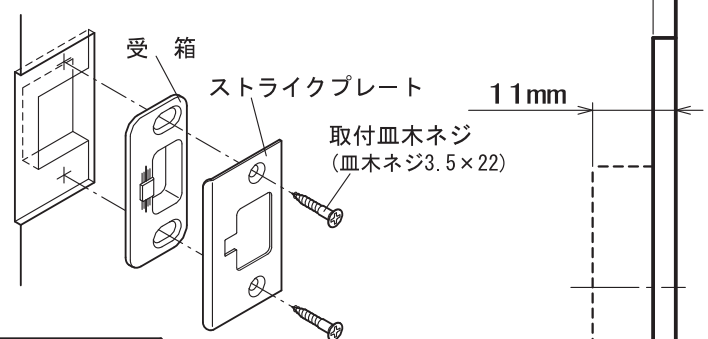
LSミニケース錠

フロントの角形状は現品に合わせて角又はR6で加工してください。



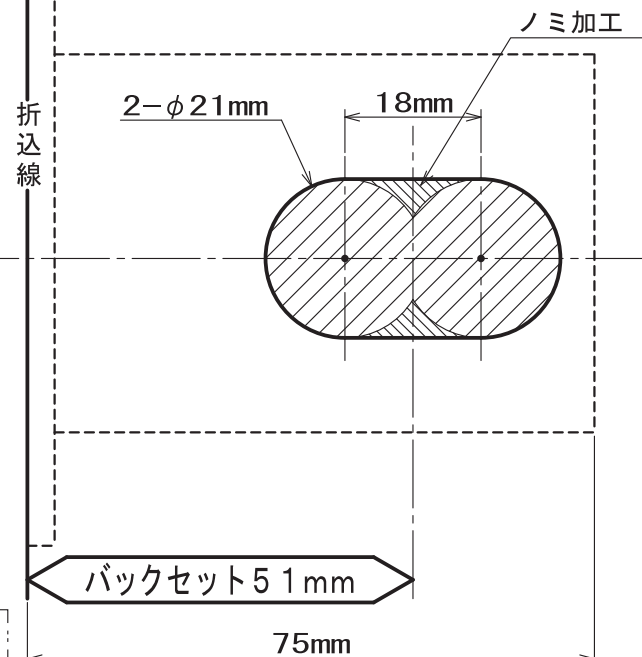
調整ストライク（S25）標準品取付型紙

オプション品をご使用になる場合は、専用の加工を行なってください。

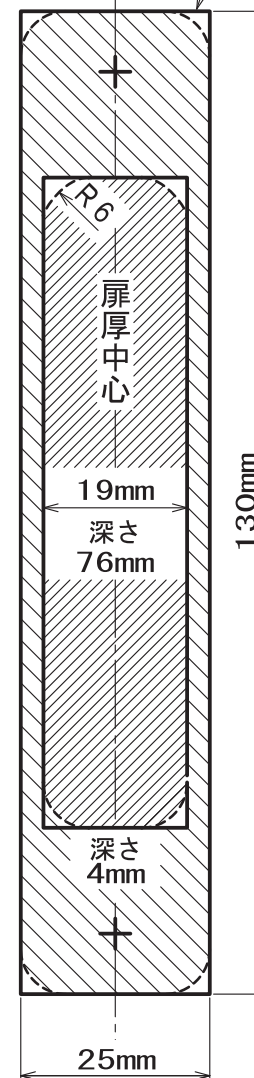


取付方法

1. 取付型紙に従って、枠に加工をしてください。
2. 上図のように取り付け、仮止めしてください。
3. 受箱をラッチボルトに合わせて動かしてください。
4. 取付皿木ネジで固定してください。



フロントの角形状は現品に合わせて角又はR6で加工してください。



LVS・SVS ケース錠



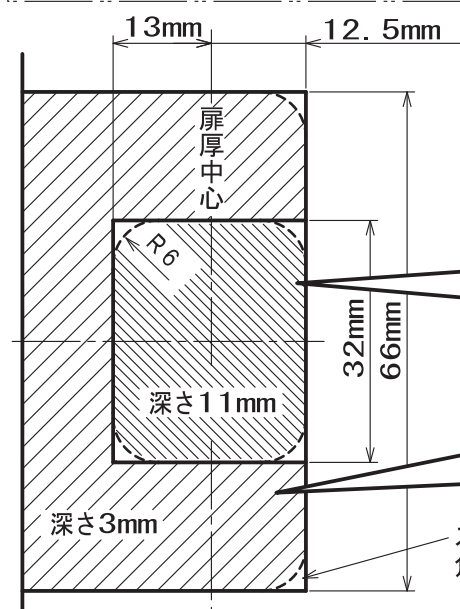
注意

必ず指定寸法で加工してください。

※受箱の入る穴は、図の通りに加工してください。小さめに加工しますと、調整範囲が狭くなる場合があります。

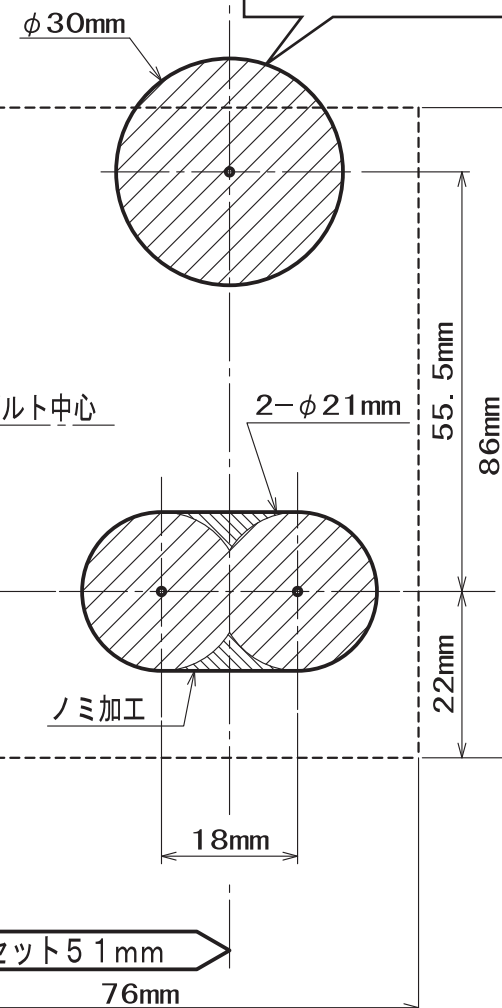
※この面が平滑でないと、木ネジで締めても受箱が固定できないことがあります。ご注意ください。

ストライクの角形状は現品に合わせて角又はR6で加工してください。



使用可能扉厚 33～40mm

* 空錠の時は必要ありません



注意

- 必ず指定寸法で加工してください。
- ケース錠の厚みに合わせて19mmで加工してください。加工が広すぎると、ケース錠とドアの隙間が大きくなるため、座の取り付けネジを強く締むとドアがへこむ恐れがあり、カバーの掛りが悪くなる場合がありますのでご注意ください。

受箱の調整方法

